



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 東京コスモス電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩崎 美樹
(コード番号 6772)
問合せ先 取締役管理本部長 小野沢一実
(TEL 046-253-2111)

営業外収益・営業外費用・特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び次の営業外収益・営業外費用・特別利益の発生を踏まえ、平成 30 年 3 月 2 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,000	380	280	150	9.57
今回修正予想 (B)	10,239	373	325	249	15.91
増減額 (B-A)	239	△7	45	99	
増減率 (%)	2.4	△1.8	16.1	66.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	8,201	321	122	86	5.51

(注) 当社は従来、在外子会社等の収益及び費用については、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、本年度より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。平成 29 年 3 月期実績については遡及処理後の数値を記載しております。

2. 修正の理由

(1) 売上高の連結業績予想について

売上高は、米国・中国・アジア向け可変抵抗器が前回の通期発表予想に対し増加したため、2.4%上方修正しました。

(2) 利益の連結業績予想について

営業利益は、製品構成が前回の通期発表予想と変化したことから、373 百万円 (1.8%下方修正) を見込んでいます。経常利益の増加要因としては、当社の加入していた第二年金基金からの解散分配金が想定を上回ったことや連結対象子会社に対する補助金交付などでありま。一方、減少要因としては、第 4 四半期に入り為替相場が対円で下落した影響で第 3 四半期の為替差益から一転し為替差損を計上した結果、経常利益は 325 百万円 (16.1%上方修正) となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、東高志 (香港) 有限公司の事業構造改善費用の圧縮に努めたことや香港ドルが対円で下落したこと、更に特別利益に投資有価証券売却益を計上したことに加え、税負担が想定を下回るため 249 百万円 (66.0%上方修正) を予想しています。

3. 営業外収益の計上

当社の連結対象子会社である会津コスモス電機株式会社及び白河コスモス電機株式会社は、革新的なものづくりに対する支援補助金及び震災後の産業復興を目的とした雇用助成金の確定通知書を受領したため、営業外収益（補助金収入）として、47百万円を平成30年第4四半期で計上いたします。

4. 営業外費用の計上

平成30年3月期第3四半期において、為替差益38百万円を計上しておりましたが、平成30年3月期第4四半期では為替相場が対円で下落したことで一転、為替差損3百万円の計上となります。従って平成30年3月期の経常利益には42百万円の減少影響を与えることとなります。

5. 特別利益の計上

当社は、資産効率の向上と財務体質の強化のため、政策保有株式の一部売却を平成30年3月期第4四半期に行ったため、平成30年3月期第4四半期において特別利益（投資有価証券売却益）に30百万円を計上いたします。

(注) 上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって本資料の予想とは異なることがあります。

以 上